

# 特集1

# 今あなたに伝えたい デンパークの本当の魅力



です。黄色い花の後ろに  
褐色の葉を敷き詰めたり  
入り口付近は明るく黄色  
い葉で揃えたりと、工夫  
して使い分けています。  
カラーリーフの使い方に  
関しては、全国でも随一  
だと思いますよ。

## 秘密兵器の「養生 温室」

庭作りで最も大事なのが、「きちんと育つこと」  
です。安城市の気候はと  
ても過酷。夏はとも暑  
く、冬は冷たい風が吹き  
抜けます。そのため、園  
内では安城市の気候に耐  
え、よく育つ品種を厳選  
しています。その上で、  
いつでもキレイな植物を  
出す必要があります。そ  
こで登場するのが、秘密  
兵器「養生温室」。園の裏

に温度別に徹底管理した温室が  
あり、独自の色合いの品種を作  
り出すこともできます。「市場に  
出ているのは赤い花だが、白い  
花が欲しい」とか「アクセントに  
なる葉の植物が欲しい」など、  
手に入りにくい植物は種から育  
てています。

フローラルプレイスでは養生  
温室を使って、本来の季節より  
少し早めに植物を展示していま  
す。季節の訪れを感じるだけで  
はなく、家庭でのガーデニング  
の参考になるように、との考え  
からです。

## 五感で楽しめる公園

園内の芝生はなるべく柵を設  
けないようにしています。また、  
木にウインドチャイムをつけて  
風を耳でも感じられるようにし  
ています。植物を手で触れ、草  
木や風のおいなどを、全体体  
で味わえるようにしています。

## 日本一の公園を目指しています



デンパーク緑地係長  
川合政利さん

ほかとは少し違います

園内のほとんどの庭や花壇に  
は、まちの園芸屋で売っている  
ような「園芸品種」を植えていま  
す。みなさんがガーデニングを  
する時に使う植物ですね。デン  
パークでは、植物の色や形、高  
さなどの組み合わせで、ガーデ  
ニングのお手本を見せています。  
その方法もさまざま。「ファン  
タジーガーデン」では季節ごと

市内赤松町にある「安城産業文化公園  
デンパーク」。花とみどりの公園とも呼  
ばれるこの魅力に、みなさんは気づ  
いていますか？今回は、3つの異なる  
視点から見た、デンパークの魅力につ  
いて、みなさんに伝えます。

にデザインや花を変えたり、「ム  
ーンライトウオーク」では同じ  
色の植物で見せたり、「世界の梨  
園」では同じ植物の種類の豊富  
さで見せたりします。

一般的な植物園が、一つの植  
物を年間通して見せるのに対し  
、ここは植物の組み合わせを利用  
した空間を見せているんです。

デンパークは葉が命



デンパークの植物は、葉色  
(カラーリーフ)の豊富さが特徴

## デンパーク市民特別入園券 をご利用ください

1枚で市民2人まで入園できる  
市民特別入園券です。休園日をご  
確認のうえ、期限までにご利用く  
ださい。

デンパークでは10月2日(土)~11  
月3日(日)に秋のイベント「秋穫祭」  
を、11月20日(土)~12月26日(日)に  
「ロマンチックXmas」を開催。  
12月4日(土)~26日(日)はナイター営  
業となります。イベント満開、楽  
しさを盛りだくさんのデンパーク。  
皆様のご来園をお待ちしていま  
す。

### ※安城産業文化公園デンパーク※

## 市民特別入園券

本券1枚で2人まで1回限り入園できます

有効期限：平成23年3月31日(木)

※休園日→火曜日(11月23日、12月14日・21日、  
来年1月4日を除く)、11月24日(木)、12月27日(月)  
~来年1月1日(金)・19日(木)・20日(木)



〈キリトリせん〉

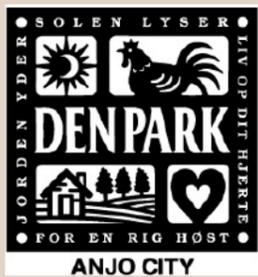
### ※安城産業文化公園デンパーク※

## 市民特別入園券

本券1枚で2人まで1回限り入園できます

有効期限：平成23年3月31日(木)

※休園日→火曜日(11月23日、12月14日・21日、  
来年1月4日を除く)、11月24日(木)、12月27日(月)  
~来年1月1日(金)・19日(木)・20日(木)



〈キリトリせん〉

〈キリトリせん〉

# デンパークの楽しさ



年間パスポート利用者  
袴田さん夫妻(今池町)  
ウォーキングに最高

分かります。それに、車や自転車を気にしないでいいので、自分のペースで歩くことができるんですよ。

**スタッフの笑顔がうれしい**

園内で水をあげているスタッフや、入場口にいる受け付けの人には必ず声をかけます。それは、いつも明るく答えてくれるから。開花具合や見どころを教えてくださいます。スタッフと話すことも、ここへ来る楽しみの一つなんです。

## 野鳥も魅力的です

花や緑も魅力ですが、野鳥や動物・虫なども魅力的。以前、



デンパークでウォーキングを始めたきっかけは、今年の春に広報あんじょうに付いていた無料入園券。妻に誘われるまま、何となく来てみました。ところが一目見てビックリ。デンパークに惚れ込んでしまいました。

まず、何よりキレイなところが好き。ごみが落ちてないのももちろん、雑草もほとんど生えていません。管理が行き届いて、きちんと整備されているのがよく

# カメラを撮っても絵になります



写真家  
鶴田郁夫さん(箕輪町)  
撮りたいものが尽きません

す。田当たりによって輝きが変わるところも好きですね。それから、芝生の丘から望む風車も絵になりますよ。

## のんびりできます

心が解放されて、のんびりと過ごせる場所です。芝生も自由に歩いていけるし、カワセミやカイツブリなどの野鳥も目にします。安城市は日本デンマークと言われた頃より、どんどん都市化されて、自然が減ってきているように思います。今こそ、こういう場所が必要でしょうね。

## カメラの練習に最高

名古屋で一緒に写真を勉強し、市外で同じように講座を開いている仲間がいます。彼らも、実習には必ずデンパークを使っているそうです。いつ来てもキレイで、撮影ポイントに困らないからでしょう。それに、安全で撮りやすいことも魅力だと思いますよ。

※鶴田郁夫さんの写真講座  
デンパーククラブハウスで

〈キトリセン〉

### 利用上のご注意 2010〈下半期〉

- ・市内在住の人のみ使用できます
- ・本券の払い戻し、再発行はできません
- ・コピーやウェブサイトで印刷したものは利用できません
- ・入園後にいったん退園した場合は再入園できません

利用人数 □1人 □2人

安城市・(財)安城市農業振興協会

問い合わせ▶デンパーク(☎92)7111



〈キトリセン〉

### 利用上のご注意 2010〈下半期〉

- ・市内在住の人のみ使用できます
- ・本券の払い戻し、再発行はできません
- ・コピーやウェブサイトで印刷したものは利用できません
- ・入園後にいったん退園した場合は再入園できません

利用人数 □1人 □2人

安城市・(財)安城市農業振興協会

問い合わせ▶デンパーク(☎92)7111



〈キトリセン〉

## 楽しいから続けられる

ハスの池に鶴の親子を見つけて、思わず見入ってしまったことがあります。また、農園では、カメの産卵に遭遇したこともあります。

虫の声にも季節を感じられます。セミの声が穏やかになっていくと、秋の訪れを感じます。虫と言っても、小さな羽虫などはほとんどいないので、歩いていても気持ちがいいです。

年間パスポートを購入したので、週3回くらいのペースで来ています。2400円は本当に安いです。前回に比べみだつた花が、次に来たら咲いていたり、新しい花に変わっていたりと、常に変化があって飽きません。

開催している写真講座。一眼レフカメラを使う人より、コンパクトなカメラを使う人を対象としています。デンパークに来園した人が「簡単な撮影のコツを知りたい」と、当日でも受けられるよう、予約制にはしていません。

この講座で写真の興味が増し、個展を



開くほどになったサークルもあるそうです。

## リニューアルのお知らせ

次の通り、園内改修工事をします。みなさまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解をお願いします。

【時内】平成23年1月～3月中旬→クラブハウス周辺を改修。園内周遊バス「メルヘン号」が通行できるよう園路を拡幅し、東ゲート周辺に広場を設置 平成24年3月中旬→市民農園跡地を改修。白をイメージした庭を作り、現在ある花木園との一体感も図る。また、石垣を配置し、庭の変化を演出。

改修エリア

正面ゲート

